

標準委員会 第32回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日 時 2016年5月23日（月） 13：30～14：30

2. 場 所 3東洋海事ビル B+C 会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員） 萩原（部会長），越塚（副部会長），吉田（幹事），伊藤（途中から入室），
上野，北島，堺，坂本，佐々木，佐田，宿谷，西田，沼田，日比，藤井，
宮坂（16名）

（欠席委員） 石川，岡本，田中，山口（4名）

（常時参加者） 工藤（1名）

（事務局） 中越，谷井（2名）

4. 配付資料

ATC32-0 議事次第

ATC32-1 前回議事録（案）

ATC32-2 人事について

ATC32-3 「発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準」の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果

ATC32-4 「放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010」改定要否検討結果

ATC32-5 “標準委員会 専門部会運営通則”改定案の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果

ATC32-6 “標準委員会 専門部会運営通則”改定案の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票への意見対応

ATC32-7 風洞実験実施基準:2009の改定のための分科会の再開について

ATC32-8 分科会の活動状況について

参考資料

ATC32-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿

ATC32-参考2 標準委員会の活動状況

5. 議事内容

事務局から開始時点で委員20名中，16名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（14名以上）を満足している旨，報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（ATC32-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（ATC32-2）

事務局からATC32-2に基づき，専門部会及び分科会の人事についてそれぞれ下記の提案があり，審議の結果，確認，再任又は承認決議された。ただし，清水委員及び館野委員の詳細については再度，確認し報告することとなった。

1) 専門部会

① 委員業種変更承認の決議

堺 公明

旧：日本原子力研究開発機構（学術研究機関）

新：東海大学（学識経験者）

② 委員再任の決議

佐田 幸一（電力中央研究所）

田中 健一（エネルギー総合工学研究所）

藤井 大士（関西電力）

2) 分科会

① 委員退任の確認

【放射線遮蔽分科会】

月山俊尚（日立 GE ニュークリア・エナジー）

【風洞実験実施基準分科会】

舘野 徹（原子力安全基盤機構）

井手 靖雄（久留米工業大学）

柿島 伸次（電力中央研究所）

沼田 邦夫（日本原子力発電）

安達 隆史（日本気象協会）

大場 良二（三菱重工業）

込山 有人（東京電力ホールディングス）

鈴木 政時（日本エヌ・ユー・エス）

永井 清之（IHI）

永井 晴康（日本原子力研究開発機構）

福田 寿（伊藤忠テクノソリューションズ）

安田 智美（関西電力）

② 委員選任承認の決議

【放射線遮蔽分科会】

尾方智洋（三菱重工業）

中野秀生（日立 GE ニュークリア・エナジー）

【風洞実験実施基準分科会】

市川 陽一（龍谷大学）

一条 憲明（IHI）

伊藤 博英（日本原子力発電）

岡林 一木（三菱重工業）

北林 興二（元工学院大）

近藤 裕昭（産業技術総合研究所）

佐田 幸一（電力中央研究所）

千葉 匡志（東京電力）

筑紫 文夫（日本気象協会）

中山 浩成（日本原子力研究開発機構）

野田 満靖（関西電力）

馬淵 倉一（伊藤忠テクノソリューションズ）

道岡 武信（近畿大学）

山澤 弘実（名古屋大学）

渡邊 則之（日本エヌユー・エス）

③ 常時参加者登録解除の確認

【風洞実験実施基準分科会】

佐藤 篤史（中部電力）

藤田 幹雄（日本原子力発電）

(3) 【報告・審議】 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準” の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果について（ATC32-3）

事務局から ATC32-3 に基づいて、“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準” の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果についての基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票の結果、改定要とする結果が可決されたことが報告され、検討結果を標準委員会で報告することが決議された。

(4) 【報告・審議】 “放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010” 改定要否検討結果について（ATC32-4）

放射線遮蔽分科会の坂本主査から ATC32-4 に基づいて、“放射線遮へい計算のための線量換算係数:2010” 改定要否検討結果について報告され、審議の結果、この改定不要とする検討結果について30日間の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票へ移行することが決議された。

質疑等は以下のとおり。

文章中に改正と改訂が混在しており、どちらかに統一すべき。

(5) 【報告】 “標準委員会 専門部会運営通則” 改正案の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票結果及び意見対応について（ATC32-5, ATC32-6）

事務局から ATC32-5 に基づいて、“標準委員会 専門部会運営通則” 改正案の基盤応用・廃炉技術専門部会決議投票の結果、反対意見が1名の委員からあったことが報告された後、引き続き ATC32-6 に基づいて、決議投票で受付けた意見対応案及び反対意見への対応案についての報告があり、審議の結果、対応案により反対意見は解消し、対応案は承認され、改正案が可決された。

(6) 【報告・審議】 “風洞実験実施基準分科会” 再開について（ATC32-7）

風洞実験実施基準分科会の沼田幹事から ATC32-7 に基づいて、“風洞実験実施基準分科会” 再開について報告され、審議の結果、①委員候補の選定、②投票による委員の選任及び③委員の承認が決議された。

質疑等は以下のとおり。

・大幅な委員の入れ替えとなっているが、学術研究機関、エンジニアリング会社等で長年実験に携わってきた人が殆どであり支障はないと考えている。

(7) その他

(1) 次回第33回基盤応用・廃炉技術専門部会は、9月5日（月）13:30から開催することになった。

以上